

## 図学 (Architectural Geometry I)

担当教員名	中川 肇	
学科、科目詳細	建築学科 3年 前期 専門科目 必修科目 1単位 実習	
学習・教育目標	(D)(F)(H)	
科目的概要	建築測量に関する基本的な測量方法を修得する。	
テキスト(参考文献)	測量 実教出版(文部科学省検定:高等学校工業用)	
履修上の注意	授業・実習中、測量器具の使用方法を学ぶ、理解する。実習では、自ら積極的に測量器具の操作を行い、測量技術を学ぶこと。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合) 建築測量に関する授業と実習の理解度及び達成度を確認するために、定期試験(50%)、実習レポート(50%)で評価する。総合して60点以上を合格とする。 実習レポートは期限内に提出されたものを成績評価の対象とする。 角測量の実地試験は実習レポート(50%)の評価に考慮する。	1/4以上の欠課
連絡先	h-naka@akashi.ac.jp	

## 授業の計画・内容

- 第1週 概論、距離測量(1)：距離測量、測量の誤差に関する計算処理について講義する。
- 第2週 距離測量(2)：校内において、距離測量及び歩測の実習を行う。実習レポート(1)
- 第3週 角測量(1)：電子セオドロイドの名称と操作方法を説明し、倍角法について講義する。
- 第4週 角測量(2)：電子セオドロイドの機械操作と単角法による実習を行う。
- 第5週 角測量(3)：2倍角法による実習を行う。実習レポート(2)
- 第6週 角測量(4)：2倍角法による実地試験を行う。(前半が試験、後半が課題演習)
- 第7週 角測量(5)：2倍角法による実地試験を行う。(前半が課題演習、後半が試験)
- 第8週 中間試験
- 第9週 トラバース測量(1)：角と距離測量を応用し、敷地、建物を想定した骨組測量について講義する。
- 第10週 トラバース測量(2)：骨組測量と面積測量について講義する。
- 第11週 トラバース測量(3)：骨組測量の実習を行う。
- 第12週 トラバース測量(4)：骨組測量の実習を行う。
- 第13週 トラバース測量(5)：骨組測量の実習を行う。実習レポート(3)
- 第14週 水準測量(1)：レベルの操作方法及び水準測量について講義する。
- 第15週 水準測量(2)：水準測量の実習を行う。実習レポート(4)

## 期末試験